



## 2022年度阪神高速若手研究者助成の決定について

阪神高速道路株式会社（大阪市北区、代表取締役社長：吉田光市）は、一般財団法人阪神高速先進技術研究所及び一般財団法人阪神高速地域交流センターとともに、若手研究者の育成に寄与する社会貢献の一環として、更にはその研究の成果を当社的高速道路サービスの向上にも活かすため、2018年度から「阪神高速若手研究者助成基金」を設け、公募によって、都市における高速道路に関する研究に対して助成金を支給しております。

2022年度については、2021年11月24日から2022年2月10日まで構造、交通工学および経済など幅広い分野から募集を行い、計10件の応募をいただきました。これらを社内選定委員会において厳正に審査した結果、次の4件の研究（計約600万円）を助成することを決定しました。

研究課題名	所属	職名	氏名
供用中の積層ゴム支承を対象とした AE 法による残存耐震性能評価手法の確立に向けた研究	立命館大学 理工学部環境都市工学科	准教授	川崎 佑磨
自然災害による高速道路橋の被害がもたらす地域住民への影響評価	立命館大学 理工学部環境都市工学科	特任助教	四井 早紀
都市間長距離移動における輸送機関とインフラストラクチャーの統合資源強度評価	立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構	准教授	光斎 翔貴
疲労き裂進展シミュレーションを援用した鋼橋の合理的維持管理手法の提案	名古屋大学大学院 工学研究科	准教授	判治 剛

研究課題名の50音順

なお、その研究成果については、2023年6月頃、HP等で公表する予定です。